

事務事業名	真岡市音楽祭開催事業				担当	教育委員会 文化課 市民会館係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	6	文化芸術の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成8 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4社会教育費	8芸術文化振興		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	<p>平成7年度に本市で開催された国民文化祭「吹奏楽の祭典」を契機に、音楽を楽しみ、関心を持ってもらうため、毎年実施している。小学生から一般音楽団体まで出場できるコンクール形式をとらない音楽祭である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加団体は、市内の小学校、中学校、高校、一般の音楽団体 特長は、市内の小学校、中学校、高校が合同吹奏楽団や合唱団を編成して出演し、他校の児童生徒との貴重な交流の機会である。 一般団体もジョイント形式を取り入れ、ジャンルもクラシック音楽にこだわらず、和太鼓集団が参加するなど多彩な音楽祭である。 実施にあたっては、実行委員会を組織し、市の交付金により運営している。 							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 開催：11月12日（日）に市民会館で開催（9:00開場 9:30開演 17:00終演） 主な事業費：特別出演者の謝金、小中学生の送迎及び楽器輸送委託料 実行委員会：年3回開催（第1回6月8日、第2回8月22日、第3回2月27日） 30年度計画 11月11日（日）に市民会館で開催を予定している。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
	ア	出演団体数	団体	19	20	21	20	20	
	イ	観客数	人	1,565	1,575	1,482	1,705	1,800	
	ウ	実行委員会開催回数	回	3	3	3	3	3	
エ									
オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
	ア	市民数	人	80,698	80,590	79,422	79,542	79,542	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 音楽に対する市民の関心を高め、多くの市民に聞いてもらう。 多くの市民が舞台上で演奏し、演奏の仲間づくりを図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
	ア	観客数/市民数	%	1.9	1.9	1.9	2.1	2.1	
	イ	音楽祭に演奏等で参加した市民/市民数	%	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	
	ウ	仲間づくりができて市民＝合同演奏参加者数	人	308	386	354	290	350	
エ									
オ									
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 芸術文化、特に音楽全般の振興を図る。 演奏する楽しみを体得してもらう。 色々な演奏会を聞きに行く。 自分たちで演奏会を企画する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
	ア	芸術文化活動に興味・関心のある市民の割合	%	64.6	64.2	62.9	62.3	70.0	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	2,404	2,451	2,876	2,540	3,000
			事業費計(A)	千円	2,404	2,451	2,876	2,540	3,000
人件費			正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間	360	360	360	360	360
			人件費計(B)	千円	1,520	1,508	1,495	1,494	1,494
			トータルコスト(A)+(B)	千円	3,924	3,959	4,371	4,034	4,494

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成7年度に国民文化祭「吹奏楽の祭典」が本市で開催された際、出演者及び市民から一過性のイベントで終わることなく続けてほしいとの声が多かったため、真岡市音楽祭として実行委員会主催（市が事務局）で継続して開催するようになった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	観客数は、平成26年のリニューアル以前は延べ1,000人程度の入場者数となっていたがリニューアル後は1,500人程度となっている。 平成27年度から、バス輸送費の大幅な値上がりにより小中学生の送迎費が増加するため、開催交付金の予算額が190万円から350万円に増額となった。 平成29年度から開催交付金が300万円となった。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	実行委員から、新鮮味を出すために毎年多彩なゲストを招聘してほしいとの意見がある。 観客からは、毎年楽しみにしているので、ずっと続けてほしいとの意見がある。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 音楽祭への参加により、合同演奏やステージを体験することで、市民の音楽全般への振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 広く多くの市民に楽しんでもらうことを意図しており、市がある程度支援せざるを得ない。主催は実行委員会を組織し、市民参加で行っている。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 全市民が対象である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 参加団体が増加しているため、実行委員会で実施方法を検討し、各団体の演奏時間は変えずに開演時間を早めて実施している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない コンクール形式をとらない音楽祭が他にないため、市民参加の機会がなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 経費はゲスト招聘費、小中学生の送迎及び楽器の輸送代等であり、事業費の削減は困難である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 実施体制の見直しにより、職員の関わる事務量は必要最小限である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 音楽文化の振興を図るため、市の交付金により実施している事業である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							